

1 審議会名	上田市 子ども・子育て会議
2 日時	令和4年11月7日(月) 午後1時30分から午後2時30分まで
3 会場	中央公民館 3階 大会議室
4 出席者	酒井会長、長谷川副会長、浅川委員、阿部委員、安藤委員、飯島委員、表委員、川合委員、小池委員、笹森委員、下村委員、杉原委員、高井委員、竜野委員、土屋委員、西澤委員、宮下委員、山崎委員
5 市側出席者	室賀健康こども未来部長、水野子育て・子育て支援課長、山崎保育会長、長田学校教育課長、清住市立産婦人科病院医事課長、遠藤母子・精神保健担当係長、原障がい者支援担当係長、宮下放課後こども育成係長、大木保育担当係長、高橋子育て・子育て支援担当係長、渡辺子ども家庭福祉担当係長、高寺発達相談センター次長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年11月8日(火)

協議事項等

1 開 会 (水野子育て・子育て支援課長)

2 あいさつ (室賀健康こども未来部長)

3 議 事

(1) 第2次 上田市子ども・子育て支援事業計画に関する中間年の見直しについて

- ・「第2次 上田市子ども・子育て支援事業計画」中間年の見直し(案)について 【資料1】
- ・「第4章 施策の展開」について 【資料2】
- ・「第5章 1 人口の見込み」について 【資料3】
- ・「第5章 3 認定こども園、幼稚園、保育所、地域型保育」について 【資料4】
- ・「第5章 4 地域子ども・子育て支援事業の充実」について 【資料5】

事務局から説明

(委員)

資料2の6ページから7ページにかけての「支援が必要な子ども・家庭への支援の充実」についてですが、今回の中間見直しに対してではなく、次期計画において反映いただければと思うんですが、支援が必要な子ども、例えば、医療的ケアが必要なお子さんとか、ひとり親家庭や外国籍のお子さんなどについての特別なニーズを必要とするお子さんについての記載がございますが、先日、国連が、障害者権利条約に関しての勧告を日本政府にしたということがあって、9月に日本政府への勧告として、障がい者への分離された特別支援教育の中止を要請したという発表がございました。

その中で、その支援が必要なお子さんとか、ご家庭に関して、トータルの教育支援、「医療」「福祉」「教育」というところで支援していく必要があるというような話が国連の方からあったんですけども、インクルーシブを実現していくために「医療」「福祉」「教育」というところの連携が必要だというお話があったんですけども、この6ページと7ページのところの例えば6ページの下から二つ目の黒丸、医療的ケアについてだと思うんですけども、例えばこういうところに「保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援」とあるんですけども、ここの一文だけをばっと見た感じ「教育」という言葉がないの

で、なんか医療とか福祉というそちらの方の連携のことは分かるんですけども、このお子さんが例えば幼稚園なり保育園なり教育機関なりに関わっていくっていった時の、その教育的な連携っていうところが欠けているのか、それともそれが含まれた記述になっているのかってところが、若干曖昧だなとあらためて今回拝見して思いました。

同じように7ページの方にも、そのように保健、医療、福祉という分野は連携しますが、教育っていうところ、お子さんの育ちに関する一番重要なことだと思いますので、幼稚園や保育園や学校といった教育関係というところに、支援が必要なお子さんが、通常のお子さんと同じようにしっかり人権が守られて入っていくようになっていうことを考えると、ここの記述のところを厚くしていただけると有り難いかなっていうふうに感じたところです。今すぐ何かっていうことでもないかもしれないんですけども。

学校から排除されやすい幼児教育も含めて、学校から外されやすい子を排除されないような教育施設をつくっていくところをぜひ目指していただきたいと思いますので、そのあたりもまた今後、検討材料として見直していただきいただければと思っております。

(事務局)

今、お話いただきましたが、中間年の見直しということではなく、今後の第三次計画策定のところで検討させていただきたいと思っておりますけれども、今おっしゃるように教育部門、健康子ども未来部の保健部門、それから本日、障がい者支援課も出席しておりますが福祉部門につきましては、連携し事業を行っておりますので、分かりやすいような形で表現できるように考えていきたいと思っております。何卒よろしく願いいたします。

(委員)

内容的には、これでいいというふうには私は思っておりますが、一つお聞きしたいのは、このように施策がそれぞれの項目があって何々をしますという文章で終わってる訳ですが、その次、実情についての報告とかですね、点検というのはどのように行われているのか、ちょっと教えていただきたいんです。

(事務局)

事業につきましては「資料2」の方に出させていただいたのが、計画の内容でございますが、年に1回、自己評価を含めました実績を皆さんにお示ししまして、そちらで実績等についてはご報告させていただいてご審議をいただくという形をとっているところです。

(2) 今後のスケジュールについて 【資料6】

事務局から説明

質問・意見なし

(3) その他

(委員)

子育て支援事業計画の中にもありますが、子どもの交通安全の確保について一つお願いがあります。丸

子北小学校と丸子北中学校の間に横断歩道があります。その白線がずいぶん前から薄くなっていて、横断歩道の白線があまりよく見えない状態になっています。いわばそこは小学生にとっても中学生にとってもメインとなる通学路なんですけれども、私がそれに気付いたのは2年前でした。たまたま薄かったので、次の新年度までには塗り直しになるんだろうなと思っていたら、今年4月の時点でもそのままでした。そして今年の5月にその横断歩道で交通事故がありました。横断歩道を渡っていたお友達が信号無視の車に跳ねられてしまいました。幸い命に別状はなかったんですけども、春の運動会は、その子は車椅子で参加していました。信号があってもわずかに横断歩道もあるんですけども、日が傾いてくると西日がすごく眩しくて信号が見えづらいという場所でもあります。多分、学校の方からもいろいろと働きかけて申請などはあったと思うんですが、5月の事故があっても何ら変わりはなく、先日、地元の市議会議員の方が問い合わせを試みたところ、上田警察署でもそれは把握していて、それは県に申請をするそうなんです。県の方でもそれは分かっている、それは認められて、やってくれるという話になっているんですが、県の中で優先順位があって、それがいつになるか分からないということなんです。今日も通ってみましたんですけども、両端が白く残ってますが、真ん中はほとんど線がない状態です。

これは丸子の話ですけども、他の上田市の学校の中でもそういったところがあるのではないかなと思っています。県の判断ということなんですけれども、できれば上田市の方からも、今一度お願いをしていただけたらなど。子どもの安全と安心を守るためにも、ぜひお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。丸子北小学校の正面出たところの信号のあるところですね。交通事故については私も承知しております。今、お話ありましたように、道路の設置者が国だ県だ市だっているいろいろな部分ありますけど、お話いただいた内容で、あらためてこちらからも要望していきたいと思えますし、当座どうするかというところを学校とも相談して考えさせていただきたいと思えます。

・次回日程

令和5年2月8日 水曜日 午後1時30分から 健康プラザうえだ2階 多目的ホール

4 閉 会